

愛知県議会議員 わたらい克明の

県政ジャーナル



2006年秋号 (第30号)

発行人 わたらい克明事務所
豊橋市多米東町二丁目20番地の12



「闘う人間主義」「生活現場主義」の旗高く!



◆名古屋港管理組合議会行政視察

(8月2~4日)
小樽港、小樽市役所、新潟港、新潟県庁などを視察



四季の折々

★月下美人



◆花ことば◆

繊細、はかない恋、
はかない美しさ



◆神田知事があいさつ (10月12日)

神田知事が9月議会の御礼と改めての知事選への決意を公明党控室で述べられ、一緒に勝利を誓い合った写真です

ごあいさつ

愛知県議会議員 渡会 克明

秋冷の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃からのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

九月三十日には、公明党全国大会が盛大に開催され、私も参加させていただきました。席上、新代表に東三河出身の太田昭宏議員が信任されました。太田代表の出身地の議員として、小中学校の後輩として、大変うれしく誇りに思います。また同時に使命と責任の大きさを痛感いたします。

大会で太田代表が訴えられたことは、「新しい公明党」とは何か―。第一に、「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」との立党精神により深く根ざした一層、強固な党を構築することであり、第二に、「私利私欲を捨て、民衆の幸福実現のために愚直に闘う議員の気風をつくり上げる」との語がありました。

明年は、いよいよ統一地方選挙と参議院選挙という一大政治決戦が控えています。現場の党・公明党は、この統一地方選挙で何としても完全勝利をめざします。私も県議選(豊橋市選挙区)大勝利を目指し、全力で活動してまいります。そして、参議院選挙は、天王山の戦いとなります。愛知選挙区の「山本保」はじめ五選挙区は何としても完勝し、比例区は過去最高得票で八議席を勝ち取り、与党として参議院で何が何でも過半数獲得を成し遂げたいと思います。

また、一月には田原市の市議選、二月には知事選、どちらも大勝利して統一地方選挙、参議院選挙に弾みをつけたいと思います。

「闘う人間主義」「生活現場主義」―この旗を高く掲げ、断じて勝つという執念をもって前進する覚悟であります。今後ともどうか皆様方の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成十八年 十月



県議会報告

9月定例議会

健康福祉委員会 質問と答弁の要旨一部抜粋

10月2日健康福祉委員会にて質問を致しました。
県議会録画中継が下記アドレスで視聴できます。
<http://www.pref.aichi.jp/gikai/tyukei/>



◆子育て支援対策◆

【渡会克明委員】

少子化対策、子育て支援対策に特効薬はないが、社会全体で支援する仕組みづくりが大切であると思う。今年度内に制定する少子化対策条例の進捗状況について、詳しく説明を求める。また、10月から法が施行となった認定こども園について、県内でオープンしたところがあるのか、問い合わせはあるのか、そして、その対応の状況はどうか。

【子育て支援課長】

県庁内で「愛知県の少子化対策における今後の施策の考え方」の素案を作成し、9月5日に開催した次世代育成支援有識者会議で検討を行ない、パブリックコメントを9月26日から10月25日まで実施し、年度内の議会に上程したいと考えている。

【子育て支援課主幹（保育・育成）】

県内で認定こども園として認定したところは、現在のところ1箇所もない。相談状況は、およそ5、6件ほどである。市町村の認定こども園担当者会議を開催し、対応の状況を報告するよう周知を行ったところである。

◆医師確保対策◆

【渡会克明委員】

愛知県は国の縮図といわれるが、人口10万人あたりの医師数、平成6年37位、平成16年36位となっている。人口10万人あたりの勤務医数でも平成6年38位、平成16年37位となっている。こうした状況は、医師が都市に集中するということである。

県がリーダーシップをとる一つの場が医療対策協議会であるが、過去何回行われ、何が議論され、現時点でどうしようとしているのかを訊ねる。

【医務国保課長】

医療対策部会は年2回9月と3月に開催している。9月の会議では、産科・小児科の集約化の問題について意見を聞くとともに、医師の確保に向けた委員会での検討状況を報告した。将来的には集約化は避けられないという意見のある一方、医師を引き上げられる病院の経営をどうするか、今の段階では抽速な集約化は疑問であり時間をかけて検討すべきなどの様々な意見をいただいたところである。

【渡会克明委員】

本県が活路を見出す上で、まず着手できる解決策を考えた場合、一つは医学部への入学者の選抜において、地域枠ということが考えられるが、このことについて現状及び考え方を聞きたい。

【医務国保課長】

今年4月の4大学の入学定員380名に対して研修医の流入が483名であり、研修医流入県といえる。地域枠を設けて医師数を確保するということが本県の施策として適切かどうかはもう少し議論が必要かと思う。

【渡会克明委員】

本県は研修医流入県であり、臨床研修の終わった医師が出てくる来年、再来年を待ってほしい。東三河の北部は医療圏として体をなしている。そういう答弁に聞こえるが、そ

れでいいか。

【医務国保課長】

研修医流入は全県的なことであり、東三河北部については研修医を希望する者がいない現実もあるので、流入県であっても地域的な偏在が解消されるわけではない。

新城市民病院は、重要な基幹的な病院であるので、県としても対策を講じている。医療対策者の会議を実施し、①病院内における開業医による一次救急医療の実施をお願い②医師に来てもらいやすいような待遇の改善を要請。

4大学病院長会議を開催、新城市長にも出席してもらい、具体的な医師の勤務条件の提示をお願いした。また、9月からはドクターバンク事業がスタートしたので、登録医師に対し、新城市民病院についても働きかけを行っていききたい。さらに、現在1名新城市民病院に派遣している、自治医科大学卒業の医師派遣も、検討する必要があると考えている。

【渡会克明委員】

病院が機能を果たせなくなっている今、県としてリーダーシップをとるべきではないのか。

医師を県職員として採用し、地域に派遣することは可能か。

【医務国保課長】

定数の問題もあり即答はできないが、現実的に派遣を受け容れる医師がいるかどうか、県職員のように辞令一つで命令地に赴任するという考え方が、医師という職種に受け入れられるかということがある。そのようなシステムができればありがたいが、現実としては難しいことと認識している。

【渡会克明委員】

魅力ある研修プログラムの作成、奨学金制度の実施により、へき地医療に3年なり5年なり奉職してもらう方法も考えられるのではないかと。

【健康福祉部技監】

名古屋大学が厚生労働省の研修プログラムを先取りした形で研修制度を設けており、卒業生100名に対して、さらに100名も多くの研修医の流入する状況となっている。研修医が、勤務したくなるような魅力ある病院づくりについて、新城市民病院でも検討を行っている。

医局のリーダーシップも少し弱くなってきており、県がリーダーシップをとることは必要であると考えている。医師会も含め、新城市民病院の問題に関しては、様々な働きかけを行っているので、少し時間をいただきたい。

【渡会克明委員】

新城市長を始め陳情を受けているし、署名も行われている。他の地域でも同様の問題があるので、全国に先導的な愛知プログラムとなりうるものである。工夫をぜひとも願いたい。

【渡会克明委員】

この問題に関し、総括して局長に答弁を求める。

【健康担当局長】

医師の確保の問題は、ここ数年医療従事者の意識の変化が大きい。今年度は、4大学の病院長や医学部長との会議を持ったが、以前は、4大学の病院長、医学部長らと議論をする機会はほとんどなく、医局の人事に県が口を挟むことはなかった。会議を通じて、最近では地域医療の重要性、必要性について理解を得られているが、大学側はできる限り協力したいが送り出す医師が少ないということである。

現在の医師の偏在の状況をいかに改善していくかは、県医師会、4大学、県が同じテーブルについて、十分議論を行う環境はできた。こういった環境を活用する中で、医師派遣について少し脈のありそうなどころもあるので、何とか新城市民病院のようなところへ誘導していきたいと考えている。

ここ1、2年医師会も病院協会も、関係団体が同じ方向を向いて一緒にやっていくことを確認しながら、実績の上がるよう努力しているので、ご理解いただきたい。

※上記以外にも「ドクターヘリについて」「助産師について」「小児救急電話相談について」質問いただきましたが、紙面都合上略させていただきます。

7月17日 豊橋みなとフェスティバル



海の日、ポートインフォメーション「カモメリア」周辺で巡視船やパトロール船も出艇し、盛大に開催されました。一日港長のミスとの集合写真です。



わたちゃんの フォト・NEWS

8月2日~5日 名古屋港管理組合議会行政視察

新潟県庁、新潟港、小樽市役所、小樽港などを視察。写真は、小樽港のダイヤモンド式ガントリークレーンで荷捌きをしているところです。



7月23日~30日 欧州調査団



フィンランドでは「IT事情調査」、スウェーデンでは「教育事情調査・環境対策調査」、ノルウェーでは「高齢者福祉対策調査」と、北欧を100年ぶりに襲った猛暑の中、有意義な調査を行ってきました。

8月25日 2007年統一地方選公認

私、渡会克明（豊橋市選挙区定数5）は、第5次公認予定候補として、決定発表がありました。愛知県議会では、桂 俊弘(名古屋市北区)、岩田隆喜(名古屋市南区)、鬼頭英一(名古屋市中川区)、木藤俊郎(一宮市・葉栗郡)、米田展之(春日井市)、小島丈幸(豊田市・東加茂郡)の現職6名が公認を受けました。地元豊橋市議会の6名の現職も公認されました。

9月11日~13日 健康福祉委員会視察

国立がんセンター東病院、放射線医学総合研究所などを視察。また福祉施設も視察し、高齢者、知的障害者、精神障害者に対する取り組みも伺ってきました。



9月29日 こどもの城 調査

東京・渋谷にある児童総合センターである「こどもの城」へ調査。



太田昭宏代表は、新城市生まれ、豊橋育ちで、青陵中学、時習館高校で学んだ。東田小、青陵中学校では私の先輩になります。



第六回公明党大会

「新しい公明党」が勇躍スタート。公明党は九月三十日第六回党全国大会を開き、太田新代表を選出。また、浜四津敏子代表代行、北側一雄新幹事長ら本部役員が指名・承認されました。

9月14日 就農支援施設を見学

東京・大手町の高層ビル地下2階にある、就農支援施設「PASONA 02」で水耕栽培の説明を受けているところです。



豊橋市市制施行100周年記念事業

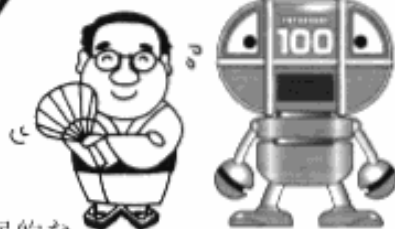
■とよはし100祭実行委員会
http://www.toyohashi100.jp/

Toyohashi City 100th Anniversary

つながり ひろがる 未来 豊橋



マツケンの
ええじゃないかCD



「マツケンサンバ」の大ヒットで国民的なエンターテイナーとなった、豊橋市出身の俳優・松平健さんに豊橋市制施行100周年記念事業の強力な助っ人として「豊橋ふるさと大使」を委嘱。

松平健さんが、豊橋発祥の民衆の踊り「ええじゃないか」をマツケン流にアレンジして「マツケンのええじゃないか」としてCD発売されました。

このCDは豊橋市内の主なCDショップならびに書店だけの限定発売。

10月22日とよはしまつり「ええじゃないか豊橋パレカ」に松平健さんも登場！



松平健
マツケンのええじゃないか
大塚伸幸 全作詞
ALL RIGHTS RESERVED © 2006 WATARAI
豊橋市制施行100周年記念事業
豊橋市ふるさと大使 松平健さん
CD発売日 2006年11月24日

第4回
後援会のお知らせ

第4回わたらい克明後援会総会を下記のように開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

《日時》
2006年11月24日(金)
18:00 受付開始
18:30 総会開始
《会場》
ホテル日航豊橋30階「ル・モン」
《会費》
お一人 5,000円
以上

2007年政治決戦 参院選に挑む

知ってますか?

愛知選挙区予定候補 山本 保
福祉、教育のエキスパート

比例区予定候補 魚住 裕一郎
現場第一、頼りになる人



党副代表。
参院議員2期。
東京大学大学院博士課程
単位修得。
57歳
「子どもの幸せのために、
教育、福祉の改革をさ
らに進めたい」――。
1995年参院選で初当選。



党中央幹事。
参院国対委員長。
参院議員2期。
東京大学法学部卒。
53歳
参院議員初当選の年に
起こった阪神・淡路大
震災。「政治とは国民
の生命を守ることだ」
それが政治の原点に。

山本 保HP <http://www.5a.biglobe.ne.jp/~tamotsuy/>

魚住 裕一郎HP <http://www.uozumi.gr.jp/>

暮らしの相談110番

■自宅 ■ 〒440-0028
豊橋市多米東町二丁目20番地の12
電話 (0532) 62-9633 FAX (0532) 64-4368
E-mail katsuaki@watarai.org
■県庁 ■ 〒460-8501
名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
電話 (052) 961-2111 FAX (052) 961-2013
URL <http://www.watarai.org/>

○公明新聞購読のご案内 ○後援会入会のご案内○
購読料1カ月 1,835円 <http://www.watarai.org/supporter/>
新聞購読、後援会入会希望の方は「わたらい」までご連絡ください。

公明党法律相談 (予約制)

■2006年■
11月10日(金) 11月17日(金)
12月1日(金) 12月15日(金)

午後6時30分～豊橋市民文化会館
★ご希望の方は「わたらい」まで

◆ 県政へのご要望、ご意見など何でもご相談ください。また、法律・税務相談等もお気軽に ◆